

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
10 熊野市	対談項目1 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 新たな事業の立ち上げ、企業誘致への協力について	<p>今知事にご覧いただいた通り、まだ埋立土地ですが、今後トータルで約5haの農用地が平場としてできますので、市としてはこれを活用して働く場所を作りたいと思います。</p> <p>農振農用地ですので、大規模な温室ハウス若しくは農業系の企業の誘致を進めたいと考えています。ハウスの整備にあたっては、この地域の気候を利用し、どのような品目を栽培するかが大切です。また運営・経営を考えれば、どのような品目がよいのかを検討する必要があります。いずれにしても、栽培技術の知識がないと品目を検討することができませんので、専門的な部分についてアドバイスいただければと思います。農業系の企業の誘致については、市の方でもアンテナを張り巡らせて色々な可能性を探っているところですが、情報が少ないので、県の方で情報提供をお願いします。</p>	<p>今回のテーマ全体に流れる「働く場の創出」ということについては、先般議会において中間報告を行った来年度の経営方針において、来年度重点的に取り組む取組の1つとして、南部地域などにおける働く場の創出を掲げているところです。県においても大変重要な取組として明示しているところですので、我々も積極的に取り組んでいきたいと思っています。</p>
熊野市	対談項目1 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 新たな事業の立ち上げ、企業誘致への協力について		<p>各地域の農業改良普及センターに担当者を配置するとともに、(公財)三重県農林水産支援センターに相談窓口を設置しています。</p> <p>これに加えて、地方創生関連事業である「みえの企業等の農業参入による地方創生モデル事業」により、新規雇用と遊休農地解消を条件に、初期投資経費を支援しており、今年度農業参入した2事業者への支援に加え、新たに追加の募集を行っていく方針です。</p> <p>昨年度、県は県内の「建設業者」や「食品製造業者」約900社に参入の意向調査を実施したところで、今後、参入の意向があった企業約50社などを対象に、企業訪問や農業参入セミナーを実施していくこととしており、その中で熊野市の土地の情報についても提供し、関心があるところについては熊野市への橋渡しを行っていききたいと思います。</p> <p>国においては「農業参入フェア」を開催しており、本県としても積極的に参加しているところです。今年度もあと3回(10月:仙台、11:福岡、1月:大阪)予定されていますので、熊野市の情報についても提供させていただきます。</p> <p>国家戦略特区の規制緩和の項目で、植物工場も農業用施設にしてほしいと規制緩和をお願いしていたところ、省令改正を行う意向という回答が一両日中に出てきたところですので、今後そういう芽も広がっていくのかなと思います。</p> <p>栽培技術については、普及員を中心に、農業研究所なども含めご相談させていただいて適地や物流との関係で市場性、コストなども考えながら、支援にしっかり協力していきたいと思っています。</p>

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
熊野市	<p>対談項目2 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 広域連携による国内外からの集客拡大について</p>	<p>① インバウンド対策について</p> <p>伊勢志摩サミットが開催されることとなり、三重県が海外から非常に注目されています。サミットが開催され注目を集める伊勢志摩地域に連携をさせて、東紀州地域にも来訪者が増える更なる取組をお願いします。</p> <p>三重県を周遊するツアーの外国人旅行者が増えてくるのではないかと予想されます。県内で横に連携したツアーコースを設定した方が、ツアー客の確保においては有効な策になるのではないかと思います。</p> <p>鬼ヶ城センターでは、昼食を取ってもらった方の15%が外国人で、ほぼ台湾からの外国人です。韓国からも来ているという話も聞きますが、(アジアは)台湾中心で、ヨーロッパはフランス中心です。中国は人口規模が非常に大きく、日中関係は改善の兆しを見せています。さらにターゲットを広げて取り組んでいただければと思います。</p>	<p>インバウンドは、三重県では国を上回る勢いで増えています。観光庁発表の1月から7月末までのデータでは、18万人を超えており、去年は1年間で17万8千人だったので、すでに1年分を超えています。伸び率も対前年102%で、全国平均の51%の倍です。1月単月で見れば対前年280%増で全国1位であり、好調に推移しています。</p> <p>加えて、セントレアにエアアジアジャパンが台湾などにLCCを飛ばすことになりました。昨年12月には、タイ航空への増便もありましたので、セントレアへアジアからの団体客が来やすい環境が整ってきています。関空の方はバスが少ないと言われているので、こちらからバスを出せば、和歌山や奈良と連携して関空からのお客さんをお呼びするのではないかと思います。</p> <p>シルバーウィークの楽天トラベル調べの人気上昇ランキングで、1位和歌山、2位が滋賀、3位三重でした。宿泊が大阪中心でとれない状況なので、周辺に泊まっていこうというのはチャンスとしてあると思います。団体客に関する周遊ツアー商品造成をしっかりとやっていきたいと思っています。</p> <p>この4年くらいでマレーシアからのお客さんが8倍くらいになっています。忍者パックという1つの旅行商品で周遊させて、美杉リゾートに泊まって伊賀などに行くというもので、団体客をごそと獲得するのもやっています。伊勢と東紀州をつなぐ伝統文化、自然の体験の話でもいいので、個人旅行者にも対応しつつ、団体の周遊で数を稼ぐというのは、中国人観光客などに対してまだまだいけると思います。セントレアにはハルビンからの飛行機も就航しています。団体客にもチャンスがありますので、連携して周遊の商品造成をしていきたいと思っています。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
熊野市	対談項目2 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 広域連携による国内外からの集客拡大について	② 国道260、42、311号とリアス式海岸を活かした新たな観光集客	<p>国道260号、国道42号、国道311号の活用は、東紀州と伊勢志摩を連携させる1つの手段になるとともに、新たな観光資源になると思います。志摩から東紀州にかけてのリアス式海岸は三陸海岸とならぶ素晴らしい海岸景観であると思います。</p> <p>関係する市町長に機会を通じて話をしています。活用した広域連携による集客拡大を図るため、県が先頭を切って、観光面での広域連携への支援、広域観光ルート(道路)の決定、その名称付け、ビューポイント、情報発信等々をお願いします。</p>	<p>国道260、42、311号を活動エリアとし、これらの地域資源を活かすため、地元住民団体や(一社)三重県トラック協会など11の団体と道路管理者を構成メンバーとした日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会が、沿道での花植えや清掃、マップや案内板の整備等に取り組んでいますので、このような皆さんにご協力いただきながら、取組をやっていけたらよいと思います。</p>
熊野市	対談項目2 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 広域連携による国内外からの集客拡大について	② 国道260、42、311号とリアス式海岸を活かした新たな観光集客		<p>場合によっては、南部地域活性化基金を活用してもらって複数地域で連携していただいて、沿岸の風景を楽しんでいけるような取組をやっていけたらと思います。</p>
熊野市	対談項目2 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 広域連携による国内外からの集客拡大について	② 国道260、42、311号とリアス式海岸を活かした新たな観光集客		<p>タイで3番目に大きい旅行会社とトヨタレンタカーと連携して、セントレアからレンタカープランを作っ て今やっています。それにより回ってくる人の選択肢になると思います。</p>
熊野市	対談項目2 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 広域連携による国内外からの集客拡大について	② 国道260、42、311号とリアス式海岸を活かした新たな観光集客		<p>日本最大の遊び体験予約サイト「アソビュー」と都道府県で初めて連携して昨年からの体験予約が5倍に増えているので、シーカヤックなどの自然体験アクティビティをオプションで紹介しながら、このルートが行かせる取組をしていきたいと思っています。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
熊野市	対談項目3 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 国道311号の改修について		<p>昨年完成した遊木バイパスのトンネル工事については、地域住民や漁業者の生活道路として安全性、利便性が向上されました。海岸線を活用した広域観光連携を推進するためにも、引き続き甫母、新鹿・遊木間などの狭隘区間改修を推進していただきたい。</p> <p>順番としては甫母を含め、今後危険な新鹿・遊木間のトンネルについて、計画的に事業を推進をお願いします。</p>	<p>国道311号は、甫母町内の約260m区間の整備に着手しており、平成27年度は、道路詳細設計を進める予定です。</p> <p>また、遊木～新鹿間などの未改良区間につきましては、熊野市内の現在の事業の進捗状況等を踏まえ、事業化に向けた検討を進めてまいります。</p>
熊野市	対談項目4 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 紀和町における観光施設活用のための県道等の整備について	① 県道の狭小箇所等の整備 (県道長尾板屋線、県道熊野矢ノ川線)	<p>わかやま国体に合わせ、国道169号(奥瀬道路Ⅱ期)が完成し、奈良県内の国道311号も整備が完了しています。国道311号は和歌山県内に課題が一部残っていますが、大型観光バスの通行がほぼ可能となりました。</p> <p>当市においては、これらの整備効果による集客の増加を見越し、これまで湯元山荘湯ノ口温泉施設の整備を行い、また入鹿温泉瀬流荘の改修を予定しています。新湯ノ口温泉の入浴客からは国道311号から同施設までの林道の改修要望が多く寄せられているところでございます。</p> <p>また、紀和町には天空の城として近年注目を集めている赤木城跡や丸山千枚田をはじめ、まだ十分に利用されていない隠れた絶景、秘境があります。多くの旅行会社からツアーコースへ組み込みたいとお声も頂いております。</p> <p>そこでお願いしたいことは、</p> <p>① 県道の狭小箇所等の整備 (県道長尾板屋線、県道熊野矢ノ川線)</p> <p>※県道長尾板屋線は最後の詰めで木を切ってもらえれば</p>	<p>① 県道の狭小箇所等の整備 (県道長尾板屋線)</p> <p>一般県道長尾板屋線については、熊野市紀和町大栗須地内の幅員狭小区間50mについては、平成27年8月に完了したところです。</p> <p>残された未改良区間の整備につきましては、道路の利用状況や管内道路事業の進捗状況を踏まえ、検討したいと考えています。</p> <p>(県道熊野矢ノ川線)</p> <p>主要地方道熊野矢ノ川線については、熊野市紀和町地内の450m区間において、本年10月に200m区間の工事が完了し、供用させる予定です。</p> <p>引き続き、残る250m区間の整備を進め、早期供用に努めます。</p>
熊野市	対談項目4 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 紀和町における観光施設活用のための県道等の整備について		② 林道の狭小箇所等の整備への支援 (林道小船小川口線)	<p>林道小船小川口線は、平成23年の紀伊半島大水害の時も迂回路として活用された実績のある重要な林道と理解しております。</p> <p>県としまして、市が行う林道改良については、国の美しい森林づくり基盤整備交付金等を活用して支援することとしております。</p> <p>林道小船小川口線の改良についても、要望に答えられるよう、必要な予算の確保に努めてまいります。</p>

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
熊野市	対談項目5 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 東京オリンピックのキャンプ候補地について	<p>来年のリオのIOC総会にて、野球・ソフトボールを含めた5種目が追加種目として提案されることが決まりました。野球は日本が一番押している種目なので、まず選ばれると思います。</p> <p>熊野市は「ソフトボールのメッカ」として、国内で名が通っていますので、追加種目に野球・ソフトボールが決定した際には、ぜひ東京オリンピックのキャンプ地の誘致を進めていきたいと思っておりますので、情報収集を含め協力やアドバイスをお願いします。</p> <p>熊野市では、高速道路の残土を入れて、防災公園を作っており、普段は野球場として使われます。災害時は物資搬入や一時避難場所として使える雨天練習場も用意する予定です。</p>	<p>野球、ソフトボールが追加種目に決まれば、熊野市が誘致に手を挙げると表明頂いたと認識しております。</p> <p>本年7月に、私自身がフランススポーツ省とイギリスオリンピック委員会を訪問し、桑名市(ボート競技)、四日市市(テニス、体操)、多気町(マウンテンバイク)の施設をお話をさせて頂きました。当然に運動施設のことは聞かれましたが、それ以上に宿泊施設や周辺など町全体の取組や総合的な魅力などについてたくさんが聞かれました。</p> <p>熊野市は、ソフトボールについては多くの皆さんが大会開催の経験をしていますし、様々な施設との連携もでき、実績も多いので、PRしやすい場所であると思っています。野球、ソフトボールが決まれば熊野市にも一緒に入ってもらって、誘致を進めていけたらと思います。</p> <p>キャンプを待っていることやソフトボールが追加種目に決まることを待っているところがあるということや伝えることが世論を喚起するところもあるので、是非積極的に我々もやっていきたいと思っております。また、台湾とかニュージーランドなどの国と競技を絞って誘致に臨んだ方がいいと有識者からアドバイスももらっています。</p> <p>ソフトボールについては、熊野市は国の中央の競技団体とパイプがあると思いますが、我々もパイプなどを駆使して、キャンプを誘致できよう頑張っていきたいと思っております。</p>
熊野市	対談項目6 ～「働く場の創出と地域振興」について～ 近畿自動車道紀勢線(熊野市久生屋町～紀宝町間)の早期事業化について	<p>熊野道路の整備促進については、引き続きよろしくをお願いします。熊野市久生屋町から紀宝町間については、道路はつながってこそ、その効果が初めて最大限発揮されますので、この間の早期の事業化について、よろしくをお願いします。</p>	<p>三重県の中でも最重要路線として要望していきたいと思っております。私は全国高速道路建設促進協議会の副会長でもありますので、道路予算の全体をしっかりと確保についても訴えながら、この路線についてもしっかりと認めてもらうようにやっていこうと思っておりますし、新しい石井国交大臣にも早期にお願いに上がり、早期に見に来てもらうようにしたいと思っております。</p> <p>ストック効果が最近相当国交省では言われている(求められている)ので、地域ならではのストック効果が現れたというネタや知恵をいただきながら、伝えていけたらと思います。また、和歌山県とも連携しながら取り組んでいきたいのでよろしくをお願いします。</p>